

# LCMSシステム Instrument Configuration 再設定手順 (Mass Hunter使用の場合)

※**2DLCシステム**や**CEMSシステム**の場合などは、  
コンフィグレーション手順が異なる場合があります。  
お客様のシステムに合わせたマニュアルをお持ちの場合は、  
そちらの内容に従ってください。

# LCMSシステム Instrument Configuration 再設定手順

## 1. Mass Hunter Data Acquisition ソフトを終了します。

ソフトの終了時に、  
レイアウトやメソッドの保存について確認メッセージが表示される場合は、  
必要があれば保存します。  
装置をスタンバイにするかどうかについては、**YesとNoのどちらでもかまいません。**

Agilent MassHunter Workstation Data Acquisition

File View Sample Worklist Method Walkup Tools Help

Context: Acquisition Layout: Default(sys).lyt Method: Worklist:

**Instrument Status**

- Multisampler** Idle EMF ✓  
2.00 µL  
6 °C [5 °C]
- Iso. Pump** Standby EMF ✓  
0.000 mL/min  
0.11 bar
- Binary Pump** Not Ready EMF ✓  
95.00 5.00 0.000 mL/min  
0.29 bar
- Column Comp.** Not Ready EMF ✓  
22.94°C 23.56°C
- Q-TOF** Not Ready  
Dual AJS ESI  
Standard (3200)  
2 GHz, Ext Dyn Range

0.00 / 0.00 Instrument Not Ready On Off

**Actuals**

Parameter	Value
Q-TOF: TOF Vac	2.37E-07 Torr
Q-TOF: Rough Vac	1.55E+00 Torr
Q-TOF: Quad Vac	3.26E-05 Torr
Q-TOF: Not Ready Text Long	One or more temps/flow/pressure are not ready.
Q-TOF: Ref. Mass Ions Found	All_Ions_Found
Q-TOF: Capillary	0.056 µA
Q-TOF: Chamber	4.08 µA
Q-TOF: Gas Temp	300 °C
Q-TOF: LC Stream Valve	Waste
Q-TOF: OCT 1 RF Vpp:1	0 V
Q-TOF: OCT 1 RF Vpp:2	0 V
Q-TOF: OCT 1 RF Vpp:3	0 V

# LCMSシステム Instrument Configuration 再設定手順

## 2. Remove MassHunter Processを実行します

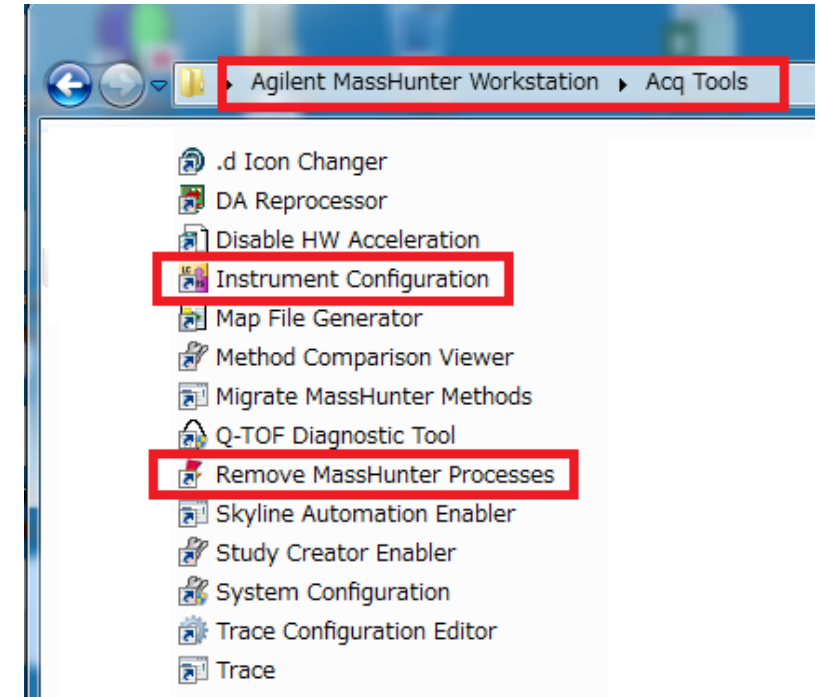
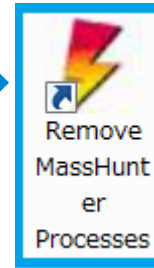
デスクトップのショートカットから実行。

または、

デスクトップのフォルダから、

### Agilent MassHunter Workstation

- **Acq Tools**フォルダを開いていただくと**雷のマーク**のアイコンが見つかると思います。

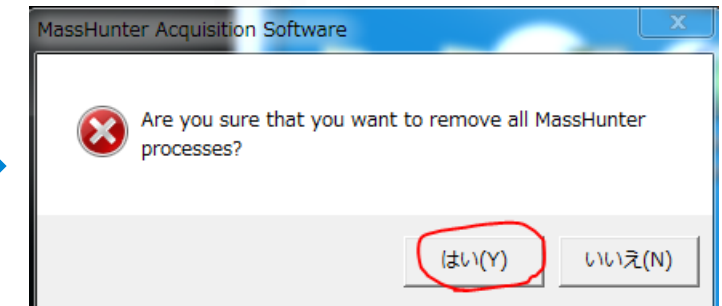


これによって、実行されているプログラムも含めて終了させます。

「本当に実行していいですか」という主旨のメッセージが表示されたら**“Yes”**で実行してください。

その後、数秒間程度だけ、

黒い背景の**コマンド画面**が表示されて、**すぐに消える**ようであれば正常です。



# LCMSシステム Instrument Configuration 再設定手順

## 3. Instrument Configurationを再設定します

Remove MassHunterと同じAcq toolsのフォルダ内、またはデスクトップにある、**Instrument Configuration**を開きます。

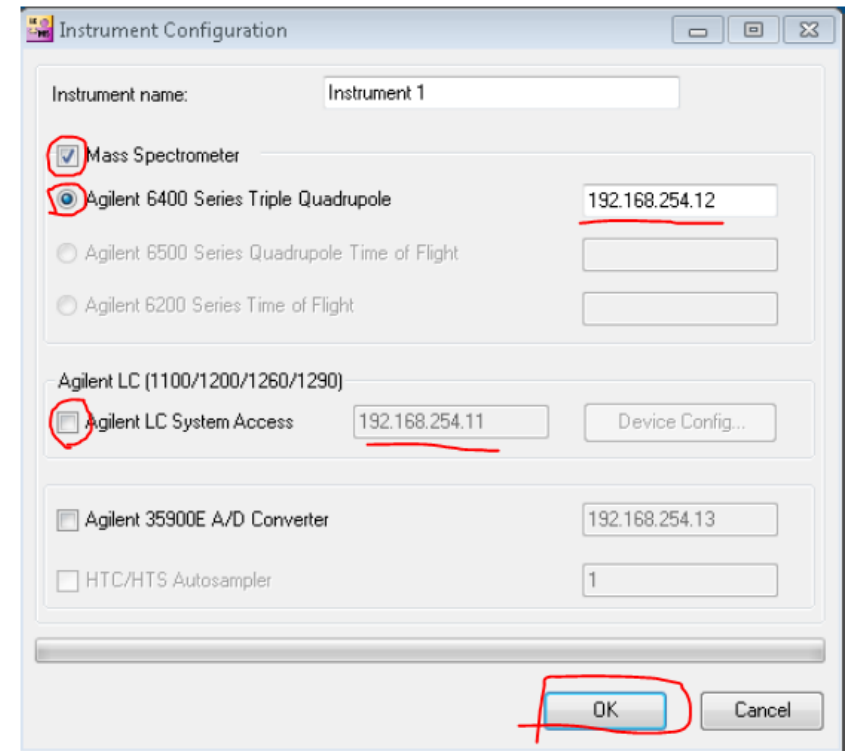
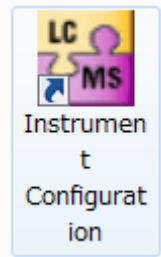
Mass SpectrometerとAgilent LCの  
必要な部分にチェックなどが入っていることを確認して  
(抜けているようであればチェックしなおして)  
“OK”を押します。

※ Mass Spectrometer部分については、  
QQQの場合は**6400**、  
TOFの場合は**6200**、  
QTOFの場合は**6500**を選択します。

数秒間待っていると、

“**Configuration Successfully**”  
とメッセージが表示されます。

OKを押して設定を完了します。



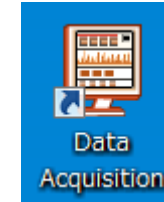
# LCMSシステム Instrument Configuration 再設定手順

## 4. Mass Hunter 再起動

普段の分析をするときと同様に、

**MassHunter Data Acquisition**を起動します。

※普段の起動よりもやや長めに時間がかかることがあります。



起動完了時に、普段使用されている**LCの各モジュールとMSが表示されることと、**

**システムをONにすると正常に動作開始すること**

(ポンプが送液をはじめたりカラムの温度調整が始まる) が確認できれば**OK**です。

以降は従来どおりにお使いください。

※**2DLCシステム**や**CEMSシステム**の場合などは、

コンフィグレーション手順が異なる場合があります。

お客様のシステムに合わせたマニュアルをお持ちの場合は、

そちらの内容に従ってください。